

平成29年度 大笹生支援学校特別支援教育セミナー

テーマ「子どもたちのためにつなごう、学び合おう」

～多様な学びの場の充実に向けて～



第1分科会「特別支援学級における自立活動」

話題提供者：本校職員 佐藤 智

自立活動について、その意義、新学習指導要領での改訂の要点、具体的な指導内容設定までのプロセスなどについて学びました。その後、2グループに分かれて、そのプロセスを元に事例を協議しながら課題関連図を作り、中心課題を探り共有するまでを体験しました。



第2分科会「主体的な学びを支える生活単元学習の授業づくり」

話題提供者：本校職員 小暮創史

生活単元学習の授業づくりについて、大切にしたいことや難しいと感じていることを整理、共有しました。その上で、改めて生活単元学習の意義や授業づくりのポイントについて、講義や実践事例をもとに確認し、実態差への対応など、課題の改善策を協議しました。



第3分科会「攻撃性のある子どもや集団参加が困難な子どもの支援について」

話題提供者：本校職員 石井忠一

不適切と思われる行動はなぜ起きてしまったのかについて考えました。そこでは、「自分」「相手」「環境」の三項関係の意味と理解について学びました。また、カードを使ったトラブルワークでは、絵を描いて伝える実践を行いました。現場ですぐに取り組みめる内容で有意義な分科会でした。



第4分科会「読み書きの困難さへの支援

～疑似体験を通して考えてみよう～」

話題提供者：本校職員 小柳純子

読み書きの困難さにかかわる疑似体験をすることを通して、障がいを持つ子供たちの日々の心情を推し量り、その改善策などを協議しました。また、後半は各校の校内支援体制の現状と課題について話し合いました。



第5分科会「知的障がいのある児童生徒へのICTを活用した授業づくり ～タブレット端末の活用～」

話題提供者：本校職員 篠田純央・丹野智春

ICTを活用するためのポイントは、「①普段使いの機器として使う。」「②部分的に使うことから考える。」「③良い実践例を真似てみる。」の3つがあげられました。実際にアプリを体験した参加者からは、歯磨きの場面やミニテストの時間などに使ってみたいなどの声が寄せられました。